



夏季の飼養管理（暑熱対策）について

乳牛にとって大敵‘暑熱’が本格化する季節です。高温多湿の環境は、乳量の減少・繁殖の悪化などの生産性の低下を招きます。暑熱ストレスを最小限にする対策を心がけましょう。

□牛舎環境

○窓の全面開放や換気扇の稼働などにより、牛舎内の風通しを良くする。

換気扇が汚れていると十分な換気ができないので、清掃を行う。

○飼槽や給水施設の清掃を行い、採食量・飲水量を確保する。

○西側の窓に寒冷紗やすだれなどを設置して、遮光する。

□放牧管理

○日陰場所がある放牧地へ放牧する。

○夜間の放牧へ変更する。

○水飲み場を増やす。

□飼料給与と管理

○良質粗飼料、嗜好性のよいエサを給与する。カビが生えたり、二次発酵したサイレージは給与しない。

○掃き寄せをこまめに行う。

○夜間の涼しい時間帯に採食できるように、夕方のエサ給与量を増やす。

○固形塩の自由採食や重曹の添加によりミネラルの補給を行う。

○バンカーやスタックなどサイレージの取り出し口をきれいにするなど二次発酵防止を心がける。



<農作業安全>

機械の点検・整備は必ずエンジンを止めてから!!

普及センターHPをご覧ください